

きくすい荘の建替えや公民連携の取組について御理解をお願いします

1 はじめに

特別養護老人ホームきくすい荘は、令和7年6月で開設53年を経過します。町では、きくすい荘の著しい老朽化と耐震性能不足の課題を解決し、入所者の安心安全な暮らしに資するため、移転改築を行い、令和8年度秋頃に新施設での供用開始を目指しています。

また、公設公営にて、これまで町が経営を担ってきましたが、年間約1億円の経営赤字（要因：高い人件費率（地方公務員法を根本基準として条例で給与が定められており抑制困難））を解消し、今後とも介護ニーズに応じて町民の安心安全な暮らしを支え続ける運営体制としていくためには、公民連携が必要であり、令和8年度の新施設の供用開始に合わせた公設民営化（指定管理者制度の導入）、将来的には施設を譲渡し、完全民営化を目指しています。町民の皆様の御理解をお願いします。

2 これまでの経緯と今後の予定

年	月	内 容
昭和47年	6月	開設
平成27年～平成28年		施設整備等検討委員会
平成28年	3月	耐震二次診断～耐震性能不足結果（耐震性能基準 I s 値0.6以上に対し、地下0.22、1階0.45、2階0.39）が判明
平成28年	4月	熊本地震
平成31年	1月	和水地震
平成31年～令和3年		病院・特養検討に関する和水町議会特別委員会～令和3年3月報告「町で建替え、当面直営、将来的に民営化」
令和3年	2月	きくすい荘建替え方針案を議会に説明
令和4年	3月	きくすい荘建替え方針決定、きくすい荘経営戦略及び投資・財政計画の策定
令和4年	4月～	庁内施設整備等検討会議等
令和4年	12月～5年7月	用地取得
令和5年	3～5月	町主催のサウンディング型市場調査（民間事業者（6者）との意見交換、意向調査）
令和5年	4～5月	町内の公共的団体（区長会、老人会、婦人会、民生委員会等の7団体221人）に対する事業説明会
令和5年	7月	施設整備事業基本構想の策定
令和5年	8月	きくすい荘経営戦略及び投資・財政計画の修正
令和5年	8月～	地質調査、測量造成設計、建築基本設計
令和5年	11月	熊本市公民連携プラットフォーム・マーケットサウンディング（民間事業者（2者）との意見交換、意向調査）
令和6年	3月	熊本市公民連携プラットフォーム・マーケットサウンディング（民間事業者（4者）との意見交換、意向調査）
令和6～7年		建築実施設計の完了、造成工事の竣工
令和7～8年		改築工事（予定）
令和8年		新施設での供用開始（予定）
令和8年		指定管理者制度の導入による公設民営化（予定）

3 建替えに係る基本理念及び基本方針

基本理念	基本方針
<p>① 住み慣れた地域で自宅にいるような自分らしい暮らしができる施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅にいるような居心地の良いやすらぎの空間 ・ 家族が最後まで寄り添える看取りの空間 ・ 採光と換気に配慮した衛生的で窓のある居室 ・ 多床室でもプライバシー確保可能な居室 ・ 他の入所者との交流が可能な共有空間 ・ 地域とつながる地域交流等で集い楽しむ多目的空間
<p>② 安心安全な施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震や風水害等の災害に強い施設 ・ 優先度の高い業務が継続可能な施設 ・ 防犯防火等の高いセキュリティの確保 ・ 入所者の安心安全を見守るカメラやセンサー等の設置 ・ 感染や食中毒に強い施設 ・ 災害時要援護者福祉避難所としても機能する地域交流等の多目的空間
<p>③ 機能性と経済性に配慮した施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザイン ・ シンプルデザイン ・ 汎用性が高い製品活用等による低コスト化 ・ 入所者の立場に立った暮らしやすい施設(食事・排泄・入浴・睡眠等) ・ 介護(看護)に適した動線が確保される施設 ・ 維持管理しやすく維持管理コストが抑制可能な施設 ・ 省エネルギーに配慮した施設 ・ 将来の民営化の足かせとならない活用可能な補助金で財源を確保
<p>④ 民営化や時代の変化に対応可能な施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来型居室を将来的にユニット型個室に転換可能な居室と共有空間 ・ 特養以外の他のサービスにも用途転換可能な施設 ・ 民間事業者が経営したいと願う施設 ・ ICTやWi-fi環境が整い、科学的介護の実践が可能な施設

4 建替の概要

- ① 位置 和水町江田4143番地（現在のきくすい荘の道路向かい側）
- ② 面積 約6,000㎡
- ③ 規模・構造等
ア 延床面積：約3,500㎡程度 階数：4階建て（4階は洗濯室（80㎡程度）のみ） 構造：鉄骨造
イ 定員 長期入所70人程度 ショートステイ2人程度（長期の空床利用もあり） ※デイサービスは令和7年度末で廃止予定。
ウ 内容 9人×4ユニット×2フロア（居室フロアは2階と3階） ユニットには、基本的に食堂・浴室・トイレ・非常口有り
従来型多床室2人×30部屋+従来型個室1人×12部屋で、個室空間を実現かつ安い利用料金を設定
- ④ 造成工事費 契約金額 約 1.62億円
- ⑤ 改築工事費 落札金額 19.8億円 ※今後の社会情勢により変動の可能性有り。

5 目指す介護サービス

- ① 入所者の立場に立った安くて良質な個別ケア（ユニットケア）～個室化した従来型多床室におけるより良いケアの提供～
- ② 病院と連携した安心安全な診療体制 ～介護と看護の一体的ケアの推進、看取りの充実～
- ③ 地域に開かれた施設 ～地域交流スペースでの筋トレ、相談会、認知症カフェ、多世代交流、福祉避難所など～

6 目指す個別ケア（ユニットケア）

笑顔、優しさ、思いやり 入所者本位で その人らしい暮らしに尽くす

7 建替の理由

- ① 施設設備の著しい老朽化
- ② 耐震性能の大幅な不足
- ③ 現状では民設民営の可能性がない
- ④ 介護ニーズは今後も高い
- ⑤ 10年間に渡る議論検討と合意形成
- ⑥ 入所者、スタッフ及び民間事業者から選ばれる施設であるため
- ⑦ 現入所者、待機者及び家族の安心安全な暮らしを守るため
- ⑧ 2050年の町後期高齢者推計1,789人(総人口の35%)

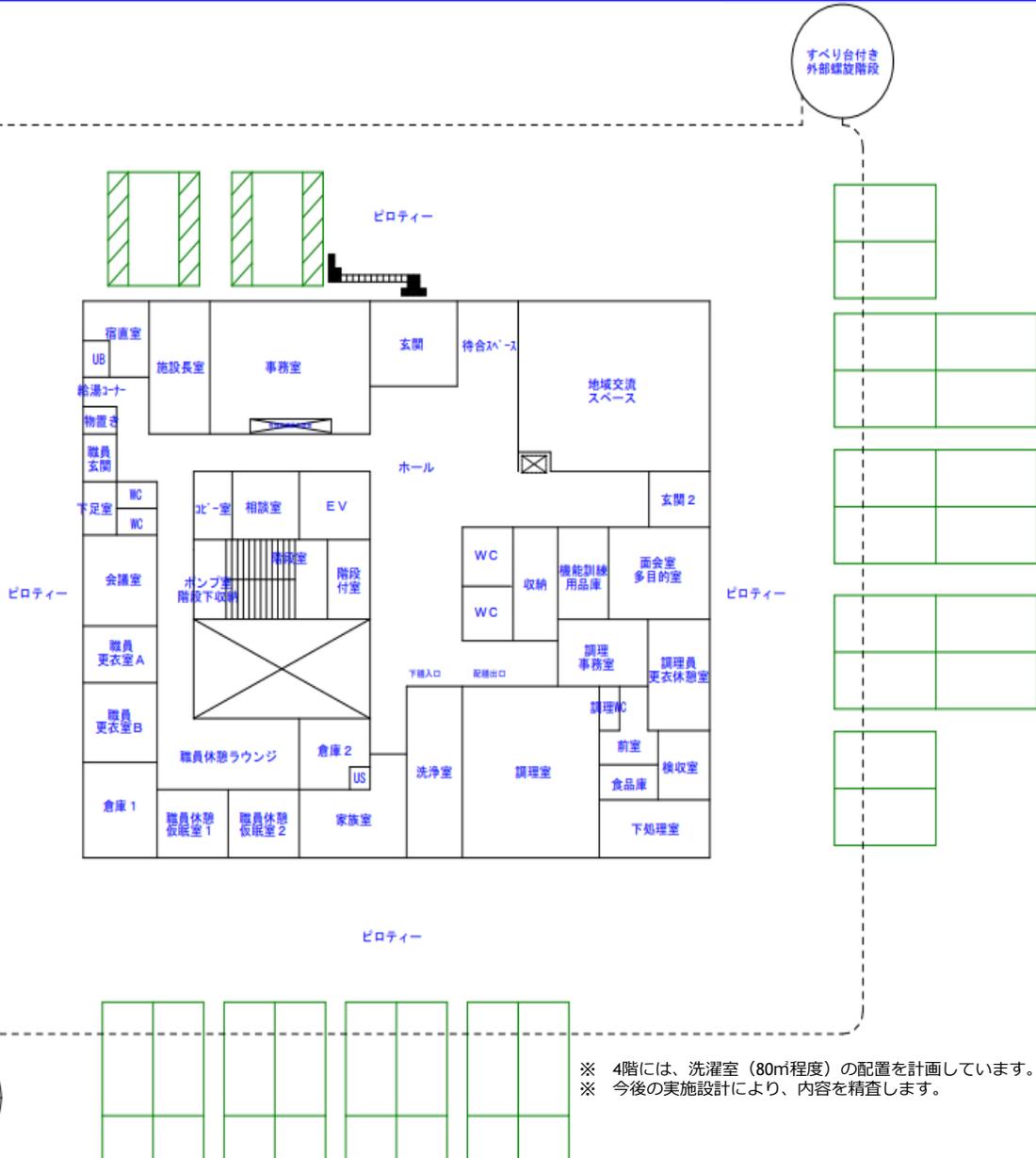
8 民営化の理由

- ① 経営改革（経営赤字の解消）
- ② 高い人件費率の見直し
- ③ 全国の特養の97%超は社会福祉法人の民間経営
- ④ 不透明感増す厳しい経営環境下で、民間のノウハウが必要（柔軟性とスピード感も）
- ⑤ どんなに厳しい経営環境であっても、必要不可欠な介護だからこそ、今まで以上に公民連携が重要
- ⑥ 地域福祉の拠点（最後の砦）を持続可能なものとするため

9 今後の課題

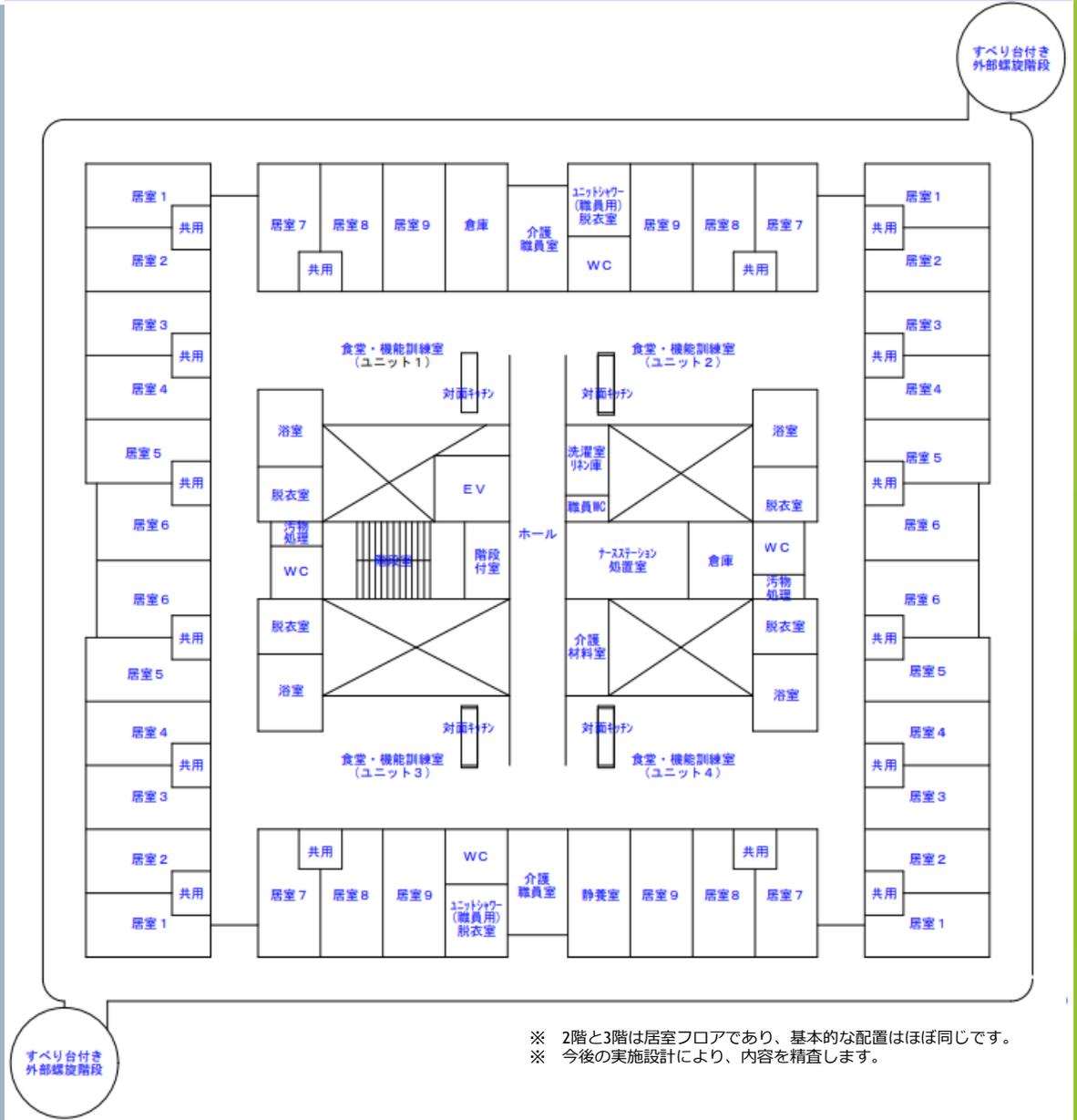
- ① 介護サービスの質の維持向上を実現するマネジメント
- ② ロボット、センサー及びICT活用
- ③ 元気高齢者や外国人等民営化に向けた多様な人材確保
- ④ 現職員（地方公務員）の身分保障
- ⑤ 現施設の跡地活用

1階の基本概要案（管理フロア）



※ 4階には、洗濯室（80㎡程度）の配置を計画しています。
 ※ 今後の実施設計により、内容を精査します。

2階・3階の基本概要案（居室フロア）



※ 2階と3階は居室フロアであり、基本的な配置はほぼ同じです。
 ※ 今後の実施設計により、内容を精査します。